

第四章：経済開発委員会

経済開発委員会(EDB)は、世界で活躍する国際的な企業に対して優れた投資環境を提供しつつ、魅力的なビジネスの育成に努めており、パハレーンが投資の中心地として発展していくことを目標にしています

バハレーン経済開発委員会 (EDB) は、2000年4月に首長令により半官半民の独立機関として設立され、取締役会メンバーも同年6月に正式に任命されました。EDBの会長にはカーリーファ・ビン・サルマン・アル・カーリーファ首相が、副会長にはサルマン・ビン・ハマド・アル・カーリーファ皇太子が就任しました。そして取締役会は、現職閣僚7名と著名な民間の代表7名より構成されています。取締役会は、バハレーンの国益を考慮し、経済開発にとって民間セクターの参画が不可欠であるとの前提で構成されました。またEDBは、2000年10月に任命された最高執行責任者以下経営の専門家により運営されています。

EDBは持続的なGDPの成長確保、雇用機会の拡大など更なる経済の多様化を図るため、海外からのバハレーンに対する直接投資 (FDI) の拡大を目的としています。

バハレーンの有する競争優位性をフルに活用するため、EDBは以下の6分野を重点経済分野とし、海外投資の拡大を図ろうとしています。

- 情報技術 (IT) ・通信
- 教育・トレーニング
- 観光
- ヘルスケアサービス
- 金融サービス
- 川下産業

これらの重要分野の選択は、バハレーンの中東における中心的な立地条件をサービスの中核として、また高いレベルの訓練を受け2ヶ国語を話せる人的資本をフルに活用することを念頭に置いているものです。またこの選択は、バハレーンの環境重視政策と国勢に見合った配慮を加えています。

EDBの機能

6重要分野に指定されている産業に対する投資の促進

EDBは潜在的な投資家に対して、バハレーンの投資環境に対する認識を深めてもらうため各種セミナー、投資フォーラム、会議、展示会などへの出席や開催を行っています。つまりEDBはこのような各種行事を通して、バハレーンに興味のある投資家の人たちと直接触れ合い、実際にバハレーンを訪問してもらい、そして投資のチャンスを発掘してもらう機会を創出しようとしているのです。

EDBはこのような訪問の機会に投資家の皆さんに対して、バハレーンについて、またバハレーンの投資環境についての説明を行っています。同時にEDBは投資家に対して、公的部門や民間部門のメンバーとの触れ合いや、バハレーンにおける人的ネットワークの構築の支援も行っています。

またEDBは、個々の企業とも接する機会を持ち、投資機会について直接話し合うこともしています。

投資家へのさまざまな投資手続きに関する情報の提供を行うことで、投資プロセスの支援と促進を図ります。

EDBは投資家の皆様に対して、投資の判断に必要な全ての情報を提供いたします。その内容としては、例えば、投資促進法、商法を含む投資環境に関する情報、経済データ、商業登記手続及び用地や公共サービス(電気"水道"ガス等)の使用(登録及びリース手続を含む)などがあります。

投資家がバハレーンでビジネスを立ち上げる際の登記手続のサポート

EDBはあらゆる投資チャンスを検討し、EDBの取締役会に適切な投資案件の提案を行います。そしてEDBの取締役会はそのような投資案件について議論を進め、そしてEDBの取締役会はそのような投資案件について議論を進め、承認を行います。このような方法は官僚主義をなくし、意思決定や承認手続を迅速化します。またEDBの取締役会はこのような手続をさらに合理化するため、経済や投資に関わるさまざまな政府の省庁、関係機関の代表者をこのシステムに参画させるという決議を採択いたしました。

そしてEDBは投資プロジェクトが承認されますと、次に投資家の登記手続及び事業立ち上げのお手伝いをいたします。

投資家が承認や登記手続において困難が生じた場合のサポート

EDBは投資家がビジネスを立ち上げる際、またその後における承認や登記手続などで困難な問題が生じた場合、それらの問題を効率的に解決するために必要なサポートをいたします。